

第11回みのり村作品展



開催場所

- 大分市 アートプラザ
平成27年11月26日(木)～11月30日(月)
- 日出町 二の丸館 会場
平成28年1月18日(月)～1月22日(金)
- 杵築市 山香庁舎
平成28年1月25日(月)～1月29日(金)

みのり村作品展概要

みのり村作品展は、総合福祉ケアサポートセンターみのり村に集う、知的障がい児・者と高齢者の方々がクラブ活動を通して制作した作品を展示したものです。

過去10回の作品展では、見学された多くの方々から「感動した」「心が和んだ」等の感想をいただき、作者、支援者共に作品作りへの励みを感じ、今年度で11回目の作品展を行う事となりました。

展示会場は、絵画、陶芸、機織り、書道、絵手紙等から構成されており、作者のいきいきとした飾らない心をそのまま表現しています。一人でも多くの人々に作品を通して、存在・命そして、その光を感じていただけたらと思います。

福)みのり村作品展実行委員会

経営理念

Management
Philosophy

私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし
地域・社会より愛され、認められる法人をめざし
社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

花のように 優しく 誠実に

みのり

No. 92

発行日

平成28年1月21日

発行者

社会福祉法人 みのり村

印刷

デジタルバンク株式会社

掲載内容

- 1 第11回みのり村作品展
- 2.3 各部代表 新年所信表明
- 4.5 地域貢献活動等
- 6 ようこそ みのり村へ
- 7 生活機能訓練室を拡張
- 8 交流サロン「福ろう」
- 9 地域で支える認知症
実践研修大会 開催
- 10 初任者研修事業 閉講式
永続勤務者表彰 ほか

福祉サービスの質の向上に向けて

平成二十八年 年始 一月三日

新年にあたり、理事長から年始の挨拶がありました。

当法人の経営理念は戦後の混乱期に設立してからの言葉です。「慈愛」「奉仕」「研究」を基本精神とし、地域・社会より愛され〜とあります。戦後70年になりますが、時代は変わっても、人の営みは変わりません。平成13年の白萩園の改築から、みのり学園、菩提樹、就労作業場に至る改修・改築まで14年間を経てようやくここまで辿り着きました。また制度を変えるにも長い年月がかかります。自分の気持ちだけではなく、法人全体の動きを理解しつつ、一人ひとりが自己研鑽し、考えながら二歩一歩階段をのぼり、クオリティ、いわゆる質を高め、ご利用者様、ご家族の皆様より信頼されなければなりません。経営理念にもあるように、愛される法人をめざし、地域・社会へ貢献していきましょつ。

本年が皆様とご家族にとって実り多く、健康で幸せな一年となります。よつ心から祈念します。



年始挨拶



各部代表 新年所信表明

- 日出障がい福祉部 長友 朋子 さん
- 杵築障がい福祉部 佐藤 あゆみ さん
- 高齢者福祉部 梶原 栄子 さん

高齢者福祉部 所信表明 (特別養護老人ホーム 菩提樹 施設サービス課 梶原 栄子さん)

平成28年度念頭にあたって
明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては恙なくお過ごしのことと存じ上げます。

さて、この念頭にあたり甚だ僣越ながら一言ご挨拶を申し上げたいと思います。
昨年は、介護保険制度の改正により当施設においても「要介護度3」以上の方が入所対象者となるという大きな変化がございました。その結果、ご利用者様の重度化が進み、医療的ニーズも増えたようにありますが、施設全体の体制、そしてご利用者様への取り組みにつきましてもほぼ大過なく1年を過ごせたのでは、と感じております。5年前の平成22年度から開始された、看護職員と介護職員による連携協働のための研修事業である「痰の吸引と経管栄養の処置」につきましても順調に実施されており、安心しておりますと同時に介護職員による実践を頼もしく受け止めております。また、新しく入職された職員の方への研修体制も十分に整ってきたと考えております。



梶原栄子さん

「看取り介護に」につきましても、ご利用者様とご家族に満足いただけるよう取り組みたいと考え、またそうなるように多職種連携の下に努力しております。今後もご利用者様とご家族に安心・満足していただけるよう、誠意を尽くした看取り介護を実施していきたいと思ひます。

そして、今後の課題となりますのが「地域包括ケアの構築」です。これにつきましては当施設職員の衆知を結集して取り組むべき課題ですが、私もその一翼を担う力となればと切望しております。

本年もこれまで以上に、ご利用者様の健康管理をきめ細かに行いながら、ケアの質の向上を目指し安心・満足していただける施設運営ができるよう、微力ながら精一杯努力していきたいという事を最後に申し添えまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

日出障がい福祉部 所信表明 (総務課 長友 朋子さん)

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、日出障がい福祉部を代表致しましてご挨拶をさせていただきます。平成27年は、戦後70年、阪神淡路大地震から20年と日本の大きな出来事への節目の年となりました。国内では安全保障関連法案が可決され、海外では同時多発テロが相次いだ事から、改めて平和というものを考えさせられる1年だったと思います。

障がい福祉の分野においては、平成27年度に介護報酬の見直しが行なわれ、障がい福祉サービスのほとんどの事業で報酬の減算が行われました。

一方で、障害者自立支援法、障害者総合支援法と法律が変わるたびに福祉施設における「障がい者」の定義は拡大され、精神障がい者、発達障がい児への地域移行、地域共生を目標とした、より専門性の高い支援が求められています。

また平成27年度 大分県では「おおいたくらしサポート事業」が発足し、主に生活困窮者を対象とした援助も始まりました。日出障がい福祉部からも相談員がコミュニティソーシャルワーカーとして活動されていますが、障がい者や高齢者だけではなく、社会制度の隙間に取り残された方々への支援も社会福祉法人に課せられる役割になってきている様に感じます。

みのり村の経営理念の中に「社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。」という言葉があります。私自身はまだ経験も浅く、福祉従事者として地域・社会へ貢献できておりませんが、これから先、福祉をとりまく環境が変わってもその時代の制度に合わせて柔軟に対応できる様、事務員としての知識を身に付け、社会福祉法人みのり村の職員の一員として支援員さん達と共に社会貢献できる様に経験を積んでいきたいと思っておりますので変わらずご指導を宜しくお願い致します。

簡単ではございますが、今年一年がみのり村のご利用者様、また職員の皆様にとって穏やかな一年になる事を願い、私の決意表明とさせていただきます。

杵築障がい福祉部 所信表明 (障害者支援施設 白萩園 施設サービス課 佐藤 あゆみさん)

新年明けましておめでとうございます。

私は、みのり村に入職させていただき、早いもので今年の4月から10年目に入ります。その間、ご利用者様と触れ合い、生活のお手伝いをさせていただくなかで、様々な事を学び経験させていただきました。私自身人として成長させて頂いたと感謝いたしております。

さて、白萩園は昨年インフルエンザが大流行し、健康管理の難しさ、職員間の連携の重要性を身を持って痛感致しました。ご利用者様の健康を守る為職員として何をしなければいけないのか、職員一人ひとりが考え・学び、試行錯誤した年でした。白萩園は現在、高齢化・重症化が著しく進み、障がい者施設としての役割に加え、高齢者施設の要素をも踏まえた施設へと変わってまいりました。

我々職員は、ご利用者様の障害の特性を理解し、各々に応じた支援の提供と共に、介護技術の習得、医学的見解を基にしたよりきめ細やか支援が求められています。本年はこの幅広い支援のニーズに対応する為、今まで以上に多方面にわたる、高度な支援の力を培っていけるよう努力していく所存です。

私達一人一人の力は微力ですが、その微力を結集しチームとしての大きな力を発揮するためには、私達支援員の和が大切だと考えます。支援員一人一人の個性・強みを生かし、明るく和やかな職場となり、ご利用者様が安心・安全・笑顔で生活できるよう、努力を惜しまず精進していきたいと思っております。今後もご指導よろしくお願い致します。



福引抽選会の様子



良き年でありますように!

今年も年始恒例の福引抽選会が行われ、大いに盛り上がりました。最後は日出障がい福祉部 廣岡施設長の声掛けで三本締めでお開きとなりました。

**皆様にとって御健康で
良い年でありますように!**

地域貢献活動等 (平成27年度活動)

社会保険ミニバレー大会で
県大会初出場 (福利厚生活動)

第20回大分県社会保険ミニバレーボール大会が行われ、みのり村からは、精鋭14人が「チームみのり」として参加しました。先ず10月18日に別府地区大会が別府市民体育館で行われ、素晴らしいチームワークで大分県大会の出場権を得ました。11月15日には県大会が大分市コンパルホールで開催されました。「チームみのり」として練習を重ね、満を持して臨んだ大会でしたが、他のチームに圧倒されてしまいました。次大会では是非上位入賞を目指したいと思えます。



健闘した「みのり村チーム」

いつもお世話になっております

地域の方々と「地域交流餅つき大会」開催

～ 杵築障がい福祉部 いち押し工房 ～



平成27年地域交流餅つき大会が、区長さん、民生委員・野田老人クラブの地域の方々のご協力のもと、利用者の皆さん、職員で楽しく開催する事が出来ました。

地域の方々との交流は、利用者の皆さんにもとても収穫の多い学びの場となりました。つきたてのお餅はお供えをし、白萩園の利用者の方々に配られました。



見よう見まねでべったんべったん



皆さん、慣れた手つきで完成していきます

ペットボトル
エコキャップ贈呈

～ 日出ライオンズクラブ様より ～

3拠点目

日出ライオンズクラブ様より、今回3回目のエコキャップ回収箱をご贈呈頂きました。ジュース飲用後のエコキャップを回収し、「一人でも多くの子供たちにポリワクチン接種を」の願いから、協力させて頂いております。法人内の数台の自動販売機は1本10円が社会貢献として寄付されています。

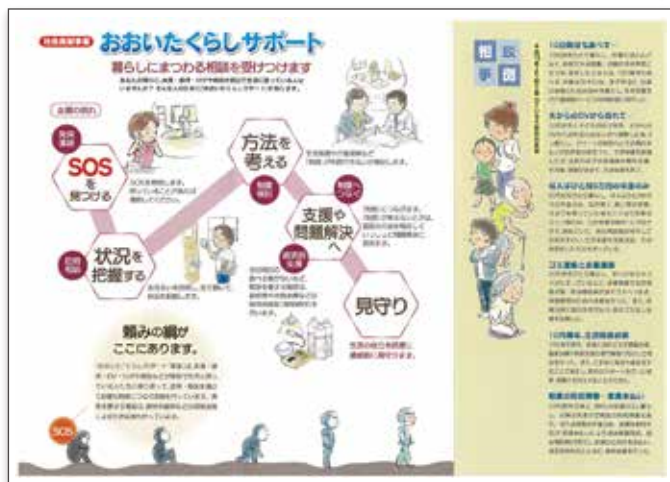
(H27.12.25)



左) 日出ライオンズクラブ 佐藤芳隆会長

みのり村の各施設は「おおいた“暮らしサポート”事業」に参画しています。

社会貢献事業「おおいた“暮らしサポート”事業」は、各施設より資金を拠出し、それにより運営しています。あなたの周りに、失業・虐待・けがや病気が原因で生活に困っている人はいませんか?そんな人のために「おおいた暮らしサポート」があります。(下記パンフレットは※各施設に配置しております。)



(パンフレットは平成27年7月26日現在)

※「おおいた”暮らしサポート”事業」みのり村CSW(コミュニティソーシャルワーカー)配置施設で相談等を受け付けています。

日出部 (日出町大神 JR大神駅下車徒歩5分)

- 障害児入所支援施設 第1みのり学園
- 障害者支援施設 第2みのり学園
- 障害者支援施設 白百合園

杵築部 (杵築市大字日野 みのり村バス停前)

- 特別養護老人ホーム 菩提樹
- 障害者支援施設 白萩園

草刈り奉仕

国道213号線沿い、野田公民館周辺



国道213号線沿い(上)と野田公民館(下)



「芋ほり大会」

美味しく頂きました

杵築市八坂小学校「竹の子クラブ」のご家族と、みのり村グループホームの皆さんで芋ほり大会が行われました。大きな芋を掘り上げると驚きと歓声がわき、たいへん喜んで頂きました。取れた芋はさっそく料理され、美味しく食べて頂きました。お疲れ様でした。

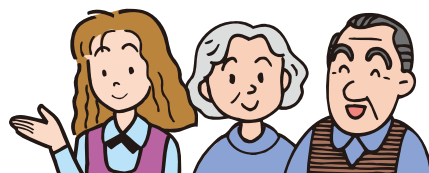


ん〜美味しそう

楽しく一生懸命掘りました♪

施設訪問「ようこそみのり村へ」

各方面から見学され研修をされました。



愛媛県西予市野城総合福祉協会様 (28名)

杵築部で施設研修をされました。

平成27年10月



遠方からのご視察お疲れ様でした



熱心に耳を傾けられました

日出町南端豊岡地区民生児童委員様 (14名)

日出部で施設研修をされました。

平成27年9月



これからも宜しくお願いします



各事務所の説明を受けられました

日出町南端豊岡地区民生児童委員協議会様(14名)が日出障がい福祉部の施設研修の為、来園しました。3時間余りの中で、法人と日出障がい福祉部の概要をそれぞれ説明し、その後実際に各事業所を見学しました。見学中は説明担当者の話に熱心に耳を傾けられ、時には質問もされていました。また、利用者の方とも言葉を交わしたり、握手をしたりするなどのふれあいの場面も見られました。

見学の最後に、「みのりスマイルで販売しているいちじくを購入できますか?」といったお問い合わせもあり、急ぎよ出前販売の形を取って購入して頂きました。思ってもなかったことでしたが、施設見学と併せて委員の皆さん方にとても喜んで頂きました。(見学:平成27年9月14日)

杵築市山香町 吉野渡地区様 (9名) 杵築部で研修

平成27年7月



高齢化事情について質疑応答されました

菩提樹デイサービスセンター「風と樹々と空と」をリニューアルしました。
今回はリニューアルメンバーの機能訓練士:植村典子氏にインタビューしました。

広報: 今までのフロアと変わった点と特徴を教えてください。

植村: はい、大きく変わった2つについて説明致します。

①生活機能訓練エリアをお部屋にしました。

以前はトイレ・お風呂入口前、廊下スペースを生活機能訓練エリアとしていたのを、パン工場の撤去移設に伴い改修し「生活機能訓練室」を新設しました。【写真①】のように、お部屋ですので、今までのように人目を気にせずに思いっきり身体を動かせます。効果ははっきりとあらわれています。お家では畳に座れない、立ち上がりが悪いというご利用者様は多くおられました。このお部屋で赤い紐(レッドコード)を操る事で関節が良くなり、畳に座れた、立ち上がりが良くなった、腕が肩まで上がるようになった、姿勢が良くなったというご本人、ご家族からのお声を頂いています。私も訓練されて姿勢が良くなったと実感します。



植村機能訓練士

菩提樹デイサービスセンター「風と樹々と空と」
「生活機能訓練室を拡張」
ご利用される方が増えています。



【写真①】 個々に合わせた訓練が出来ます

②リハビリ機器をラウンジに移動しました。【写真③】

大きな窓からは銀杏並木が四季を感じさせてくれます。【写真②】 美しい景観を觀賞しながらのリハビリは「風と樹々と空と」しか味わえません。三重の塔向こうは「桜の森」があります。ここからの眺めは「四季の森」です。



【写真②】 大きな窓からは銀杏並木の雄大な景観



【写真③】 リハビリ機器はラウンジ(奥)と窓側に移動する

広報: 最後にリニューアルされた菩提樹デイサービスセンターのこれからについて教えてください。

植村: はい、ご利用者様が在宅で少しでも長く居られるように考えます。リハビリを始める前は、ご来園時にバイタルチェックで健康状態を確認します。まずは朝の体操(ラジオ体操~ストレッチで身体をほぐします)。ここから個々の目標に向かって機能訓練を行います。月毎の評価をご利用者様と一緒に話し合い、次の月の目標を立てて行きます。出来るだけ個々のレベルを上げ、その方が少しでも長く「在宅で居て頂きたい」というのが私の考えでもあり、目標です。

広報: ありがとうございます。

植村: ありがとうございます。



「生活機能訓練室」が広~くなりました

菩提樹 デイサービスセンター
リニューアル オープン

銀杏並木と雄大な「みのりの台地」の中で四季を感じながらリハビリを楽しむことができます。



菩提樹デイサービスセンター「風と樹々と空と」
随時見学・体験受付: 0978-64-0500

杵築市「広報きつき」に平成28年3月~7月号まで広告を掲載しています。

菩提樹まちかど交流サロン「福ろう」



認知症カフェ「ふくろう茶屋」オープン

菩提樹まちかど交流サロン「福ろう」は昨年4月17日に誕生し、皆様のおかげですくすくと成長しています。日頃より可愛がられ、「ふるさと産業館前の「福ろう」に行っちゃよるけんな～待ちよんで～」という皆さんの元気な声が聞けると、とても嬉しくなります。

最近TV・新聞等で、高齢者介護の最も大きな課題は認知症への対応、とされています。

平成27年度から介護保険制度が変わり、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)への新規入所は、原則として「要介護3」以上の方となりました。入所申込理由の多くは、認知症のため家族との同居が難しくなった事です。

そこで、できるだけ長く自宅での生活を続けるために、何かお役に立てることとはないものか、ということで「福ろう」も「認知症カフェ」としての活用が浮上しました。そして平成28年1月21日、認知症カフェ「ふくろう茶屋」をオープンすることになりました。



挨拶をする大木理事長

認知症カフェのメリットとして次のようなことがあげられます。

- 1 生活の中での適切な言葉使いや仕草などを学べる。
- 2 介護者がお互いの体験を披露することで介護のヒントをつかめる。
- 3 それによって認知症の家族介護者たちの精神的負担が軽くなる。

「福ろう」には認知症に関わるいろいろな悩み相談を受けることができるスタッフがいます。お茶を飲みながらリラックスして、という点がデイサービス・入所施設での生活とは違ったおしゃれです。

まちかど交流サロン「福ろう」のスタッフは「認知症の方々ができるだけ地域活動に参加し、社会的交流を続ければ、介護保険を利用する時期を遅らせることができる、このような悩みに対する一助として「認知症カフェ」を早くからオープンさせたかった」と言い、また多くの方の外出のきっかけになって楽しんで頂けたらという想いもあり、認知症カフェ「ふくろう茶屋」をオープンさせました。そして認知症の方と家族が「ふくろう茶屋」に出向き、お互いの介護生活をオープンに話すことで、地域での助け合いが生まれ、誇りの持てる仕事だと感じるのではないかと思います。どうぞお待ちしております。(H28.1.21)



余興のオカリナ演奏、他手品、ギター演奏等



ふくろう茶屋オープンの様子



ふくろう茶屋(大分合同新聞 1/28 朝刊)

杵築市委託 菩提樹まちかど交流サロン「福ろう」

〒873-0001 大分県杵築市大字杵築692番地4(北浜) <<ふるさと産業館前>>
電話番号 080-6462-6566 FAX 0978-62-2974

研 修

マイナンバー制度

施設管理者・総務課員の研修会



マイナンバー制度研修会の様子

昨年10月からマイナンバー(個人番号)の付番・通知が始まり、本年1月から利用が始まりました。当法人も、その規模の大小にかかわらず、マイナンバーを取扱うこととなります。マイナンバー制度への対応と正確な処理が行えるよう、法人管理者・総務課員を対象とした説明会を、社会保険労務士の堀勇氏を講師に招き開催致しました。後日、総務課職員を対象としたマイナンバー制度研修会を行い、総務課長より法人の対応について指示がありました。

「認知症研修会」

地域で支える認知症

～認知症に対する理解を深めよう～

杵築市地域包括支援センター係長 秋吉知子氏を講師に招き、認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進についての養成講座を開催致しました。「認知症は誰にも起こりうる脳の病気に起因するものです。正しい知識をつけてサポートしましょう」と、丁寧にわかり易く説明を下さいました。有難うございました。(H27.10.21)



「認知症サポーター養成講座」

平成27年度大分県高齢者福祉施設等実践研究大会

レンブラントホテル大分で開催



大分県老人福祉施設協議会 会長として挨拶をする理事長

平成27年度大分県高齢者福祉施設等実践研究大会がレンブラントホテル大分で開催されました。

実践研究発表会では菩提樹より2チームが発表しました。高橋・手嶋チームは「今を楽しむ」、坂本・酒井チームは「生活リズムの改善とレクリエーション」のテーマでそれぞれ発表しました。

また、同時開催された第4回「介護って素晴らしい」フォトコンテストの表彰があり、2点の作品が入賞展示会で掲示されました。(H27.11.30)



分科会で発表する坂本・酒井介護士



質問に応じる高橋・手嶋介護士



同時開催「フォトコンテスト」展示会

総合福祉ケアサポートセンター みのり村

- 特別養護老人ホーム 菩提樹
- ショートステイ事業
- 菩提樹デイサービスセンター
「風と樹々と空と」
- ケアプランセンター ほだいじゅ
- ホームヘルパーステーション ほだいじゅ
- 配食サービス
- 在宅介護支援センター ほだいじゅ
- えむほ ガーデン
- 障がい児入所施設 第1みのり学園
- 児童発達支援センター「プリンちゃん」
- 障がい者支援施設 第2みのり学園
- 障がい者支援施設 白百合園(女性)
障がい福祉サービス事業所
- みのりスマイル
- みのり障がい者生活支援センター
- 障がい者支援施設 白萩園
- 障がい福祉サービス事業所
ワークセンター「誠」
- みのり村 いち押し工房
- グループホーム みのり村
- しらはぎ障がい者生活支援センター
- みのり村介護・福祉タクシー
- 菩提樹まちかど交流サロン「福ろう」

障がい児から就労、そして
老後までの安心トータルサポート

介護職員初任者研修事業 閉講式



修了証書を手に、受講生の皆さん

平成27年12月22日、介護職員初任者研修の閉講式が執り行われました。理事長より、「介護職員初任者研修で習った事をどの職場でも活かしてもらいたい」と挨拶があり、9人の修了者に修了証書が授与されました。



「高齢者雇用優良事業所
知事賞」感謝状の
贈呈をうける理事長



「高齢者雇用
優良事業所知事賞」
を受賞しました

平成27年度豊の国
雇用促進フェスタに於いて

第64回創立記念日並びに永続勤務者表彰

12月8日第64回創立記念日に永年勤続表彰が行われ、理事長より永年勤続表彰者に表彰状と記念品が授与されました。

勤続年数	表彰者(左より)	配属先
30年表彰者	小野 節子(謝辞)	ワークセンター「誠」
20年表彰者	中山 京子	「風と樹々と空と」
10年表彰者	後藤 卓司	みのりスマイル

(敬称略)



表彰された皆さん

編集後記

今年は申年、直ぐに「高崎山」と思い浮かべ「久しぶりに行ってみようか～」という想いになった私です(ここ20年間は行ってないような～)。昨年は「シャーロット」や「カラオケ」など、TV、ラジオで話題になった高崎山ですが、今年もさらに注目を集めそうです。職員さんは、猿の名前がわかるって～すごいですね。高崎山で「何か教えてくれるかも～」山の神という言葉信じて！

(広報室)

編集・発行／本部総務人事課

〒873-0013
大分県杵築市大字日野1921の7
TEL 0976-66-1200
FAX 0978-62-2974
URL <http://www.minorimura.or.jp/>
メール info@minorimura.or.jp

※写真掲載等には、
ご本人様の了解を得ております。

11月に内部監査を実施しました

法人、事業所内の課題を
指摘し、改善を提案しました。



内部監査の様子(白萩園)



地域の幅広い課題に
対応できる支援の質と向上

会報誌福祉施設士
12月号に掲載されました

「お知らせ」